

表題 ひめテラス (E.U.Regional Commons) の設置～地域ステークホルダーとの「共創・協働」の推進～

特色ある取組

愛媛大学は、愛媛県の東予・中予・南予の各地域に地域協働センターを設置するとともに、地域専門人材育成・リカレント教育支援センターや地域密着型文系研究センター等を設置し、地域ステークホルダーの皆様との連携や地域の活性化に重点を置いた取組みを進めてきました。これに加え、愛媛大学VISIONを達成するための戦略「全世代対応型の「地域における知の拠点」としての多機能化を図り、Sustainableな社会、Resilientな地域社会の構築に貢献する。」の一環として、「あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレイヤーがともに創造活動を展開する「共創」の拠点を形成する」をコンセプトに、「ひめテラス (E.U. Regional Commons)」を令和4年4月に設置しました。

設置後1年が経過し、1階や3階のスペースでは、セミナーや記者発表、会議なども開催され、大学から地域ステークホルダーへの情報発信が行われています。1階には自然と学生が集い、学生による地域への情報発信活動も活発に行われています。「ひめテラス」は、「地域」と「愛媛大学」をつなぐ多機能かつシンボリックな機能を果たし、「地域における知の拠点」として、地域からのニーズに応え、信頼を得られるよう努めています。



愛媛大学の正門すぐ南側に位置するひめテラス (E.U. Regional Commons)

ひめテラスの機能

1階 地域交流スクエア

- 学内外を問わず自由に集い、価値を共創するオープンスペース
- 大学からの情報発信と活発な交流を誘発するイベントスペース



2階 メディアフロント

- セミオープンスタジオ
- 撮影、収録、編集など制作・配信の拠点



<セミオープンスタジオ>

3階 地域サステナビリティスペース

- コミュニティの創出スペース
- 知恵と技術を共有するコワーキングスペース



南側スペース・壁面大型ビジョン

- キッチンカーの出店による食を通じた交流の場
- 地域の人々の興味を誘引する映像の放送

学生の活躍が地域をつなぐ

●愛媛大学社会連携推進機構産学連携推進センターのプロジェクトの一つとして誕生した「えひめ学生起業塾」が、塾の集いの会場の一つとし、多様なステークホルダーとの交流の場となっています。また、2階のスタジオを収録会場とし、令和4年度にラジオ番組をスタートさせるなど学生の活躍に寄与しています。

●大学公式Instagramによる情報発信を担う「愛媛大学学生広報アンバサダー」はひめテラスの設置により、情報交換やイベントの場として活用。学生目線による大学広報活動への貢献につながっています。

●令和4年9月、新たに、広報室長が委嘱する「愛媛大学E.U. Regional Commons 学生コミュニケーター」の活動がスタートし、ひめテラスを活動拠点に、催事や映像、デジタルコンテンツ等の企画・制作・記録・発信による地域とのコミュニケーションツールの開発から教材コンテンツの開発までを担い、地域との双方向による対話の促進に貢献することを目的とし、活躍しています。



<地元の高校生を取材>